

PARAGUAY

平成30年10月16日

**パラグアイの最近の経済情勢について
～経済成長をつづけるパラグアイにおける投資優位性～**

在パラグアイ日本国大使 石田直裕



在パラグアイ日本大使館



PARAGUAY



- **パラグアイは南米大陸の中心**に位置しておりブラジル, アルゼンチン及びボリビアと国境を接している。
- パラグアイは**総人口2.9億人市場のメルコスール**(南米南部共同市場)の加盟国
- メルコスール域内GDP合計 **約3.4兆米ドル**





パラグアイ経済概要



1 パラグアイの概況

- 面積*1 : 40万6,752km²(日本の約1.1倍)
- 人口*1 : 約685万人
- 主要産業 : 農業(大豆), 牧畜業(牛肉), 林業
- 産業別従事者割合*1
- 第一次産業: 20.7%(農業, 牧畜業等)
- 第二次産業: 19.4%(製造, 建築等)
- 第三次産業: 59.7%(商業等)

2 主要経済指数

- GDP: 393億3,800万米ドル
- 一人あたりGNI : 4,070米ドル (2016年 世銀)
- 経済成長率(暫定値): 4.8%
- 物価上昇率(年末値): 4.5%
- 為替レート : 2004年以降, 対ドル・グアラニー相場は概ね安定
- 失業率*1 : 6.0%

3 貿易統計

- 総貿易額 輸出: 86.8億米ドル 輸入: 110.2億米ドル
- 主要貿易品目 輸出: **1位:大豆(33%), 2位:電力(24%), 3位:牛肉(14%)**
4位:穀物(8%), 5位:大豆油(5%)
- 輸入: 機械, 原油・燃料, 自動車
- 主要貿易相手国
- 輸入: 中国, ブラジル, アルゼンチン, 米国, 日本
- 輸出: ブラジル, アルゼンチン, ロシア, チリ……日本
- 対日貿易総額*2 輸出: 65.7億円 輸入: 96.2億円
- 主要対日貿易品目*2 輸出: **大豆油かす74%, ゴマ19%** 輸入: **新車28%, 電気機器20%, 中古車10%**

出典: 特段記載のないもの: 中央銀行統計(2017)

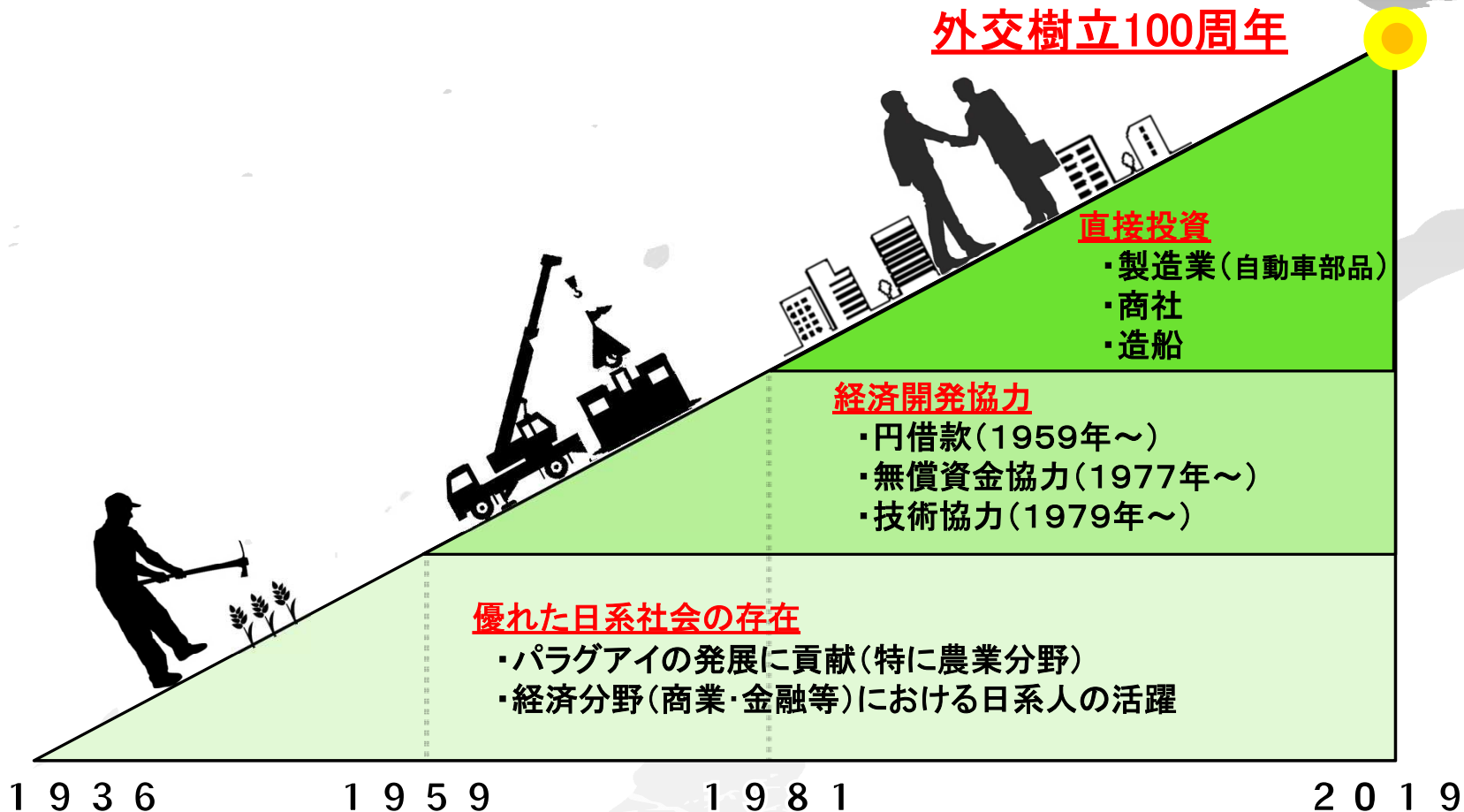
*1 統計局(2017) *2 日本財務省貿易統計(2017)



日本とパラグアイの二国間関係



外交樹立100周年





パラグアイの投資優位性



1. 日系社会の確固たる地位
2. 質の高い経済協力の蓄積
3. 政治の安定
4. 治安の良さ
5. マクロ経済の安定性
6. 安価で豊富な電力
7. 豊富な若年層人口
8. 他国との比較優位性
9. インセンティブ(税制優遇, マキラ制度)





1. 日系社会の確固たる地位



- 農業全般(大豆, 小麦, 果樹の普及)
- 移住者の勤勉さと農業開発における貢献は、パラグアイ国民に高く評価



ピラポ移住地



1. 日系社会の確固たる地位



● 商業・金融・保険・法曹・医療等の経済分野における日系人の活躍

- ①自動車販売 ②損保・銀行 ③養鶏・牧畜 ④食品・加工販売 ⑤小売・流通





1. 日系社会の確固たる地位



● 日本語学校

- ・各地日本人会が運営する日本語学校
- ・パラグアイ国内に10校
- ・在校児童・生徒: 800名以上(含, 非日系人)
- ・高レベルの日本語教育を実施



- ①チャベス中央日本語学校
- ②イグアス日本語学校
- ③アマンバイ日本語学校
- ④エステ日本語学校
- ⑤ラ・コルメナ日本語学校
- ⑥ラ・パス日本語学校
- ⑦ピラポ日本語学校
- ⑧アスンシオン日本語学校
- ⑨エンカルナシオン日本語学校



1. 日系社会の確固たる地位



● 良好な子女教育環境（日本語での教育）

- ・アスンシオン日本人学校（小学校，中学校：全日制）
（日本から派遣の先生：6名，現地採用の先生：3名）
- ・現地校：
 - 三育学院（日本語での幼児教育あり）
 - 日パラグアイ学院（日本語での幼児教育あり）



画像：アスンシオン日本人学校から提供



2. 質の高い経済協力の蓄積



● 質の高い経済協力の蓄積が、日本政府・日本人・日本企業の印象を良くし、パラグアイへの企業進出を円滑にしている。



2 質の高い経済協力の蓄積



1 日本の援助実績(2015年度までの累計)

(1) 有償資金協力 1,561.57億円 ※印, 越に次いで世界で三番目に供与

(2) 無償資金協力 362.12億円

(3) 技術協力実績 880.01億円 ※研修員受入: 4,178人 専門家派遣: 1,917人 青年海外協力隊員: 1,716人

2 主要援助国(2015年DAC諸国二国間援助)

(1) 日本(18.78百万ドル) (2) 米国(17.01百万ドル) (3) 韓国(11.54百万ドル)



3. 安定した政治・社会情勢



- 1993年の民政移管後、民主的選挙によって選ばれた政権が任期を満了。唯一例外のルゴ大統領弾劾も法に則って実施された。
- 2013年に発足したカルテス政権以降、安定した政治状況の維持と開放経済に向けた経済政策を推進している。
- パラグアイでは、近隣諸国において頻繁に発生している労働争議(賃上げ交渉・ストライキ等)が皆無に近い。

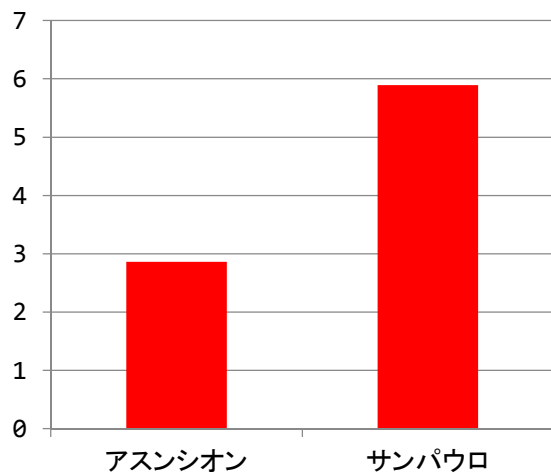


4. 周辺国と比較した治安の良さ

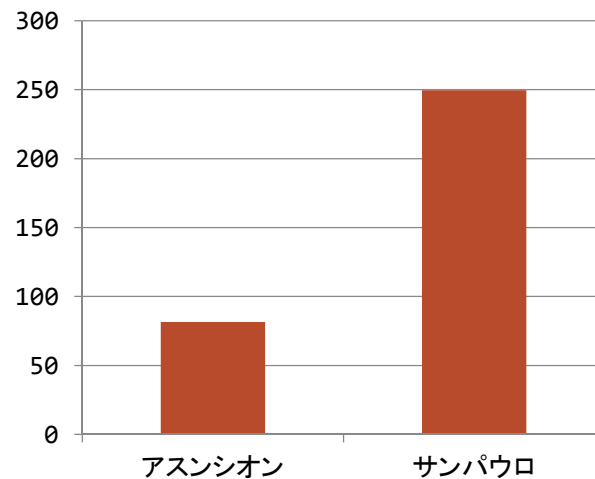


脅威が比較的少ない
⇒体感治安が良い！
(安心感がある)

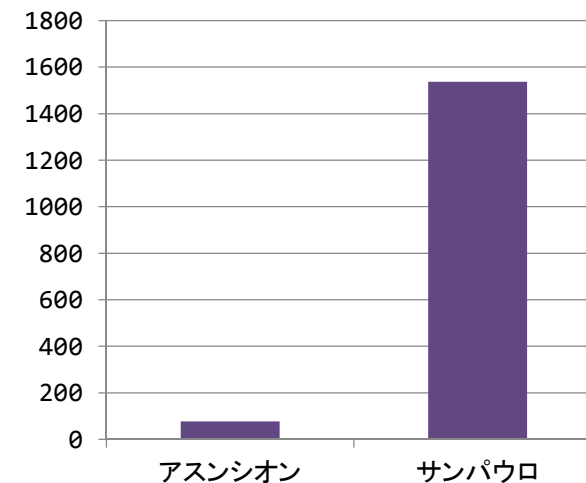
殺人



傷害



強盗

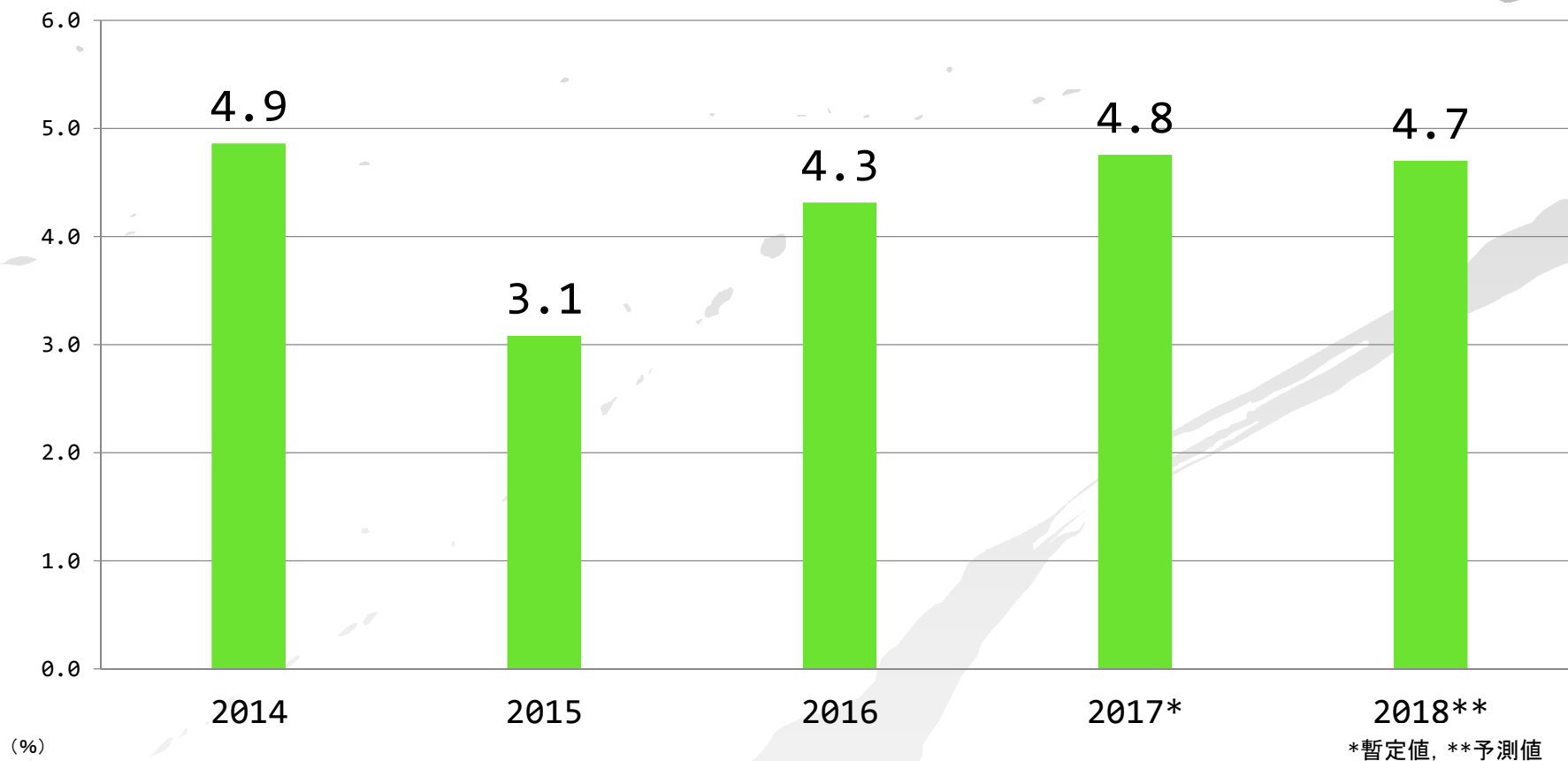


(2017年)
(10万人あたりの件数)

在サンパウロ日本国総領事館及びパラグアイ内務省のデータに基づき作成



4. マクロ経済の安定性(経済成長率)



出所:パラグアイ中央銀行発表データを基に作成

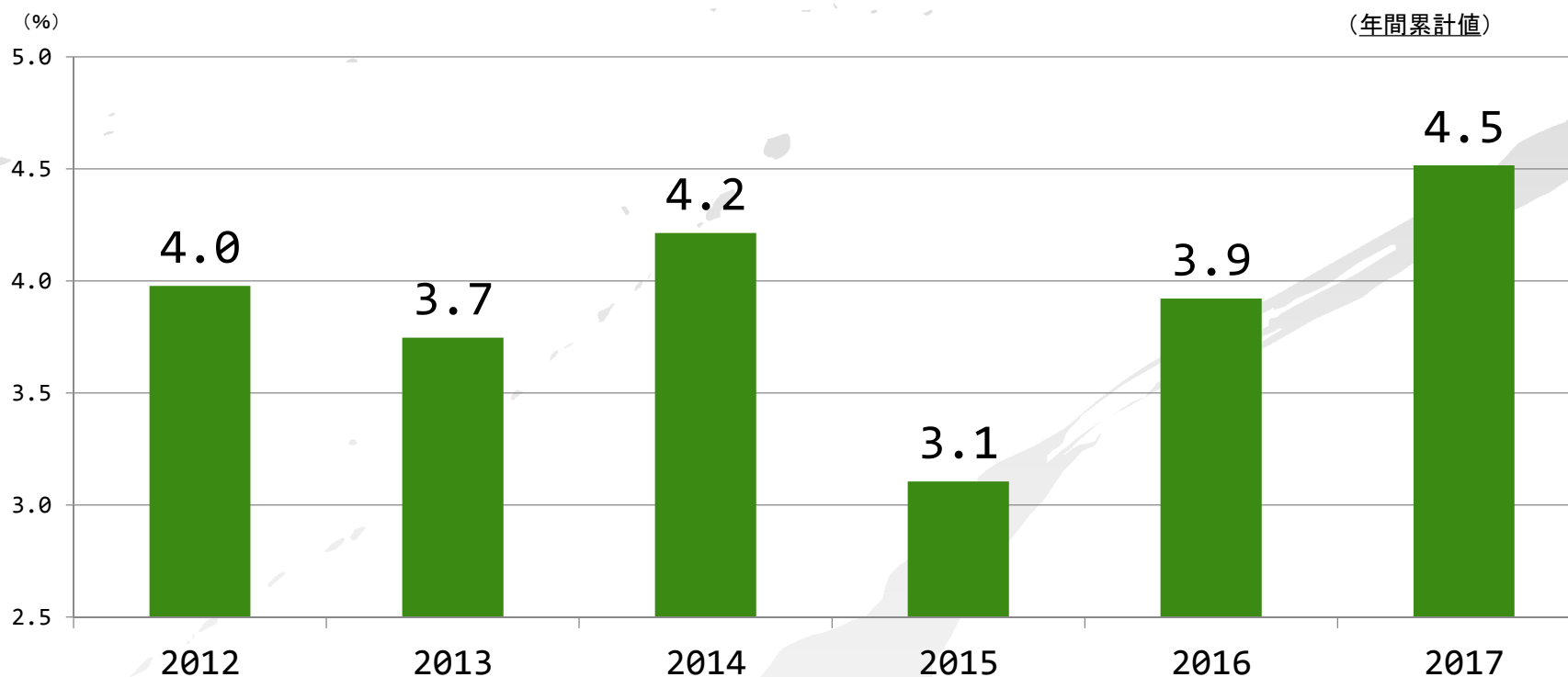
在パラグアイ日本大使館



4. マクロ経済の安定性（インフレ率）



● 4. 5%以下で安定



出所：パラグアイ中央銀行発表データを基に作成

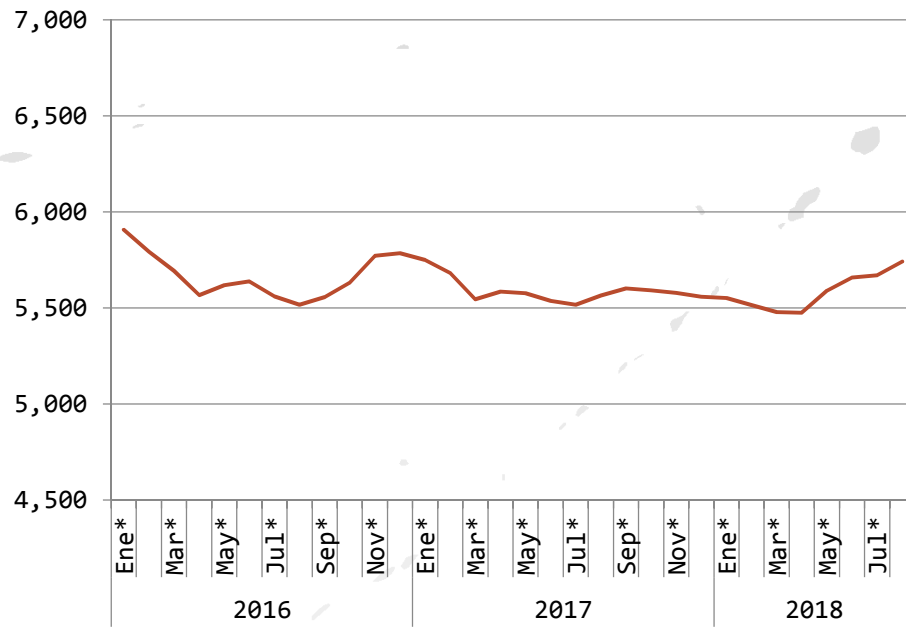
在パラグアイ日本大使館



4. マクロ経済の安定性(為替相場)

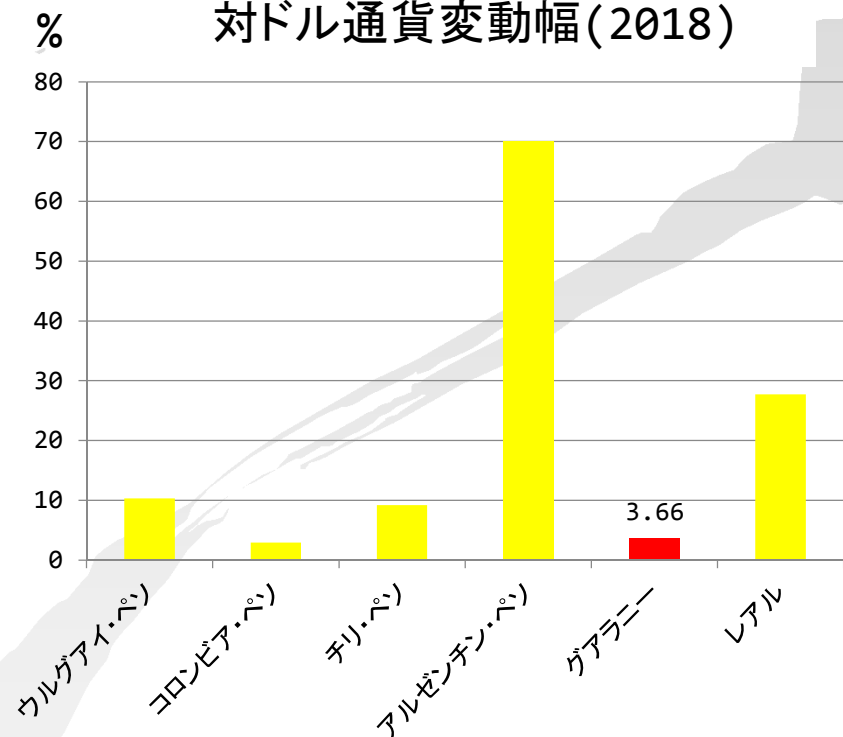


対ドル為替相場



出所: パラグアイ中央銀行発表データを基に作成

対ドル通貨変動幅(2018)



出所: 当地報道(5dias紙)から作成



4. マクロ経済の安定性(国債格付)



●外貨建て国債格付 (2018年10月時点)

国名	ムーディーズ	S & P	フィッチ
パラグアイ	B a 1 (安定的)	B B (安定的)	B B (ポジティブ)
ブラジル	Ba1 (安定的)	BB-(安定的)	BB-(安定的)
アルゼンチン	B2 (安定的)	B + (安定的)	B (安定的)





4. マクロ経済の安定性(主要貿易相手国)



●主要貿易相手国(2017年)

輸出 単位:千ドル

順位	国名	輸出額	割合(%)
1	ブラジル	2,775,246	32.0%
2	アルゼンチン	1,162,971	13.4%
3	チリ	621,872	7.2%
4	ロシア	588,119	6.8%
5	トルコ	286,844	3.3%
6	ウルグアイ	272,546	3.1%
7	インド	253,573	2.9%
8	イタリア	239,620	2.8%
9	スペイン	211,326	2.4%
10	ドイツ	184,749	2.1%
30	日本	41,178	0.5%
	その他	2,041,943	23.5%
	TOTAL	8,679,987	100.0%

輸入 単位:千ドル

順位	国名	輸出額	割合(%)
1	中国	3,450,542	31.3%
2	ブラジル	2,571,277	23.3%
3	アルゼンチン	1,144,199	10.4%
4	米国	906,392	8.2%
5	オランダ	388,674	3.5%
6	日本	267,903	2.4%
7	中国	242,893	2.2%
8	韓国	189,321	1.7%
9	メキシコ	161,756	1.5%
10	インド	148,283	1.3%
	その他	1,556,140	14.1%
	TOTAL	11,027,379	100.0%

出典:中央銀行統計(暫定値)

在パラグアイ日本大使館



4. マクロ経済の安定性(2018年予算)



歳出

内 訳	金額	比率
(1) 政府運営費	880.4	7%
(2) 治安・防衛	864	7%
(3) 社会福祉	6,234	47%
(内訳) 保健	1,653.6	12%
社会保障	1,629.3	12%
教育・文化	1,167.8	9%
その他	1,783.1	13%
(4) 経済	4,458	34%
(内訳) 公共事業, エネルギー, 燃料, 鉱物, その他	2,121 2,336	16% 18%
(5) 公債費	766	6%
(6) 管理・統制	72	1%
合計	13,274	100%

歳入

内 訳	金額	比率
中央政府		
税金	4,209	31%
(内訳) 収益に対する課税(法人税等)	888	7%
財・サービスに対する課税(付加価値税等)	2,841	21%
貿易及び国際取引に対する課税(関税等)	374	3%
その他の税	104	0.8%
社会保障料の徴収	539	4%
ロイヤリティ(イタイプ・ヤシレタダム等)	613	5%
ファイナンスによる財源	1,022	8%
その他	1,333	10%
小 計	7,718	58%
中央政府以外		
税金・公共サービスの料金等	4,306	32%
地方債の発行等	308	2%
資本の売却等	1,042	8%
小 計	5,657	42%
合計	13,357.67	100%

出典: 2018年パラグアイ国家予算資料を基に作成

単位: 百万ドル



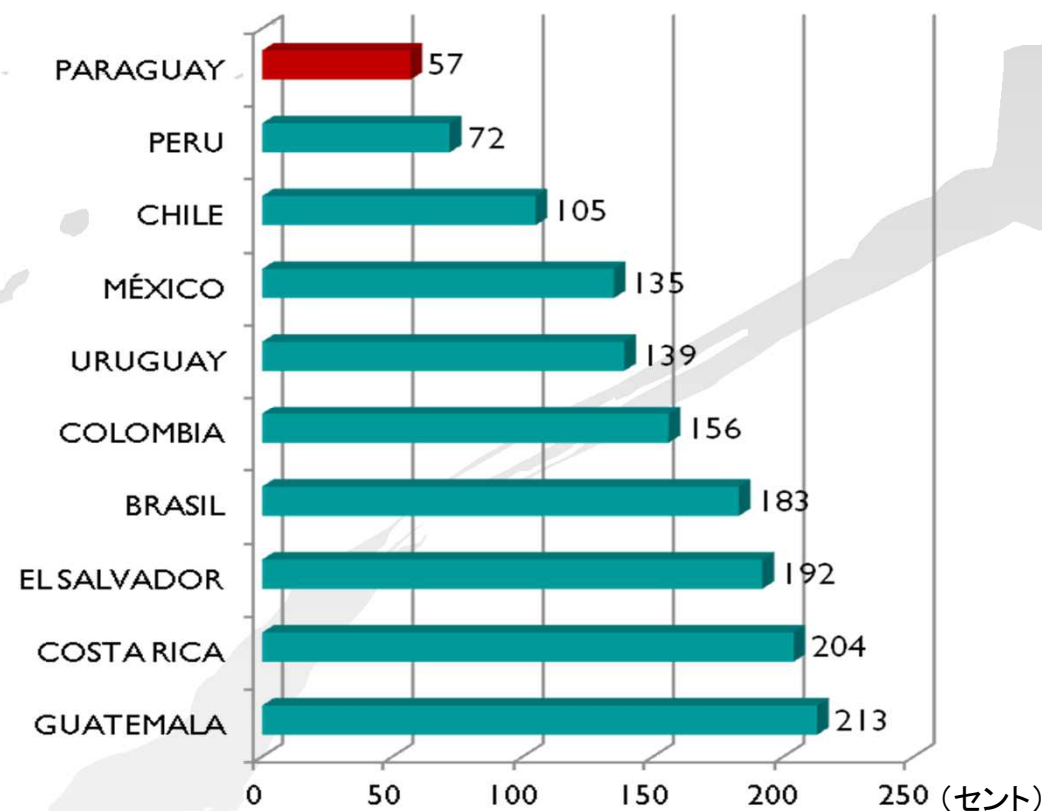
6. 安価で豊富な電力(電力コスト)



●産業用電力(50MWh/月)の単価(米ドル)

●パラグアイは**1,390MWの使用可能電力**を有する。

●家庭用電力及び産業用電力ともに**南米で最も安価**である。



出典: 商工省のHP資料を基に作成

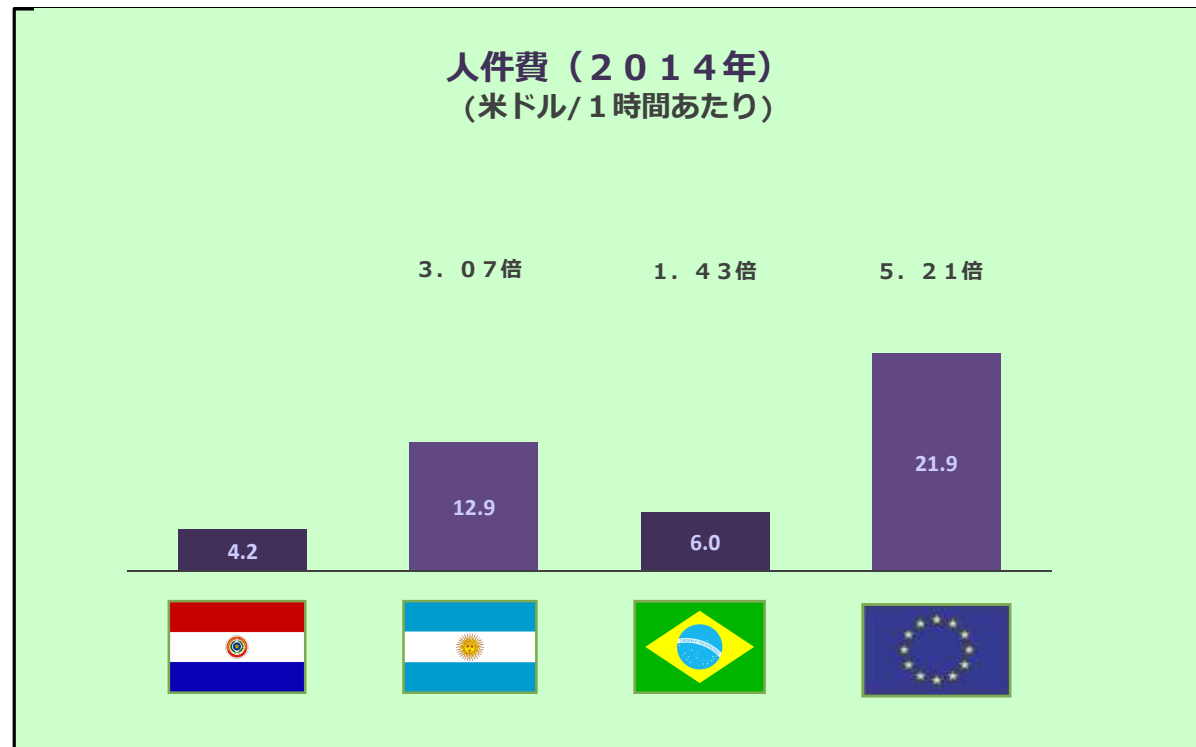
在パラグアイ日本大使館



8. 他国との比較優位性



● ブラジル・アルゼンチンとの人件費比較



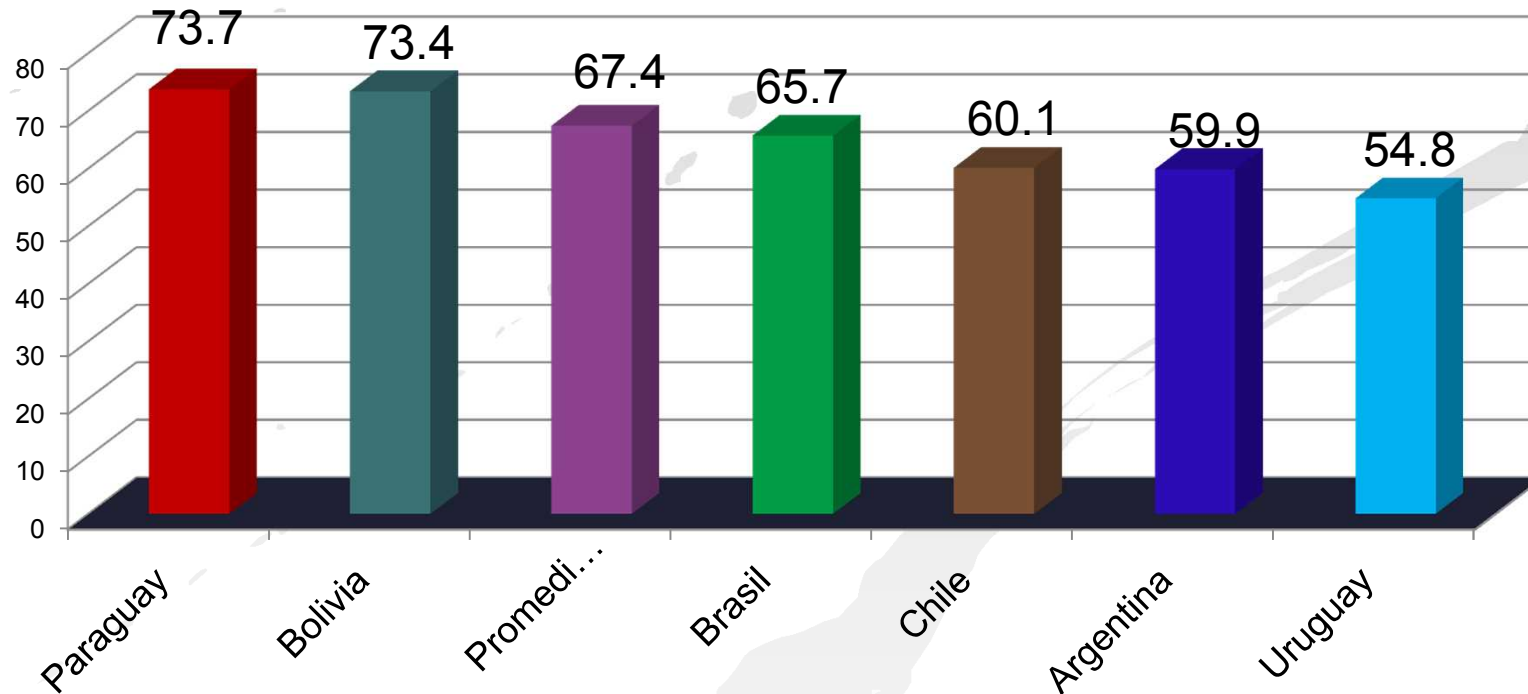
出典：商工省輸出貿易促進局



7. 豊富な若年層人口



- 3 4 歳未満の若年層人口 (%)
- パラグアイはラ米で最も多い若年層人口を有している。



出典：商工省のHP資料を基に作成



9. インセンティブ(メルコスール加盟国)



メルコスール

加盟国：パラグアイ、ブラジル、アルゼンチン、ウルグアイ、ベネズエラ、ボリビア*
準加盟国：チリ、コロンビア、ペルー、エクアドル、ギアナ、スリナム



- 域内関税は原則として撤廃されている（例外品目有り）
- 域内貿易において、メルコスール原産とみなされる（域内関税が適用される）ための現地調達率が定められており、同調達率を満たせば、域内関税は原則無し（関税0%）
- 2015年7月16日に開催された共同市場理事会において、現地調達率を40%とするパラグアイへの特例措置が2030年まで延長されることが決定した



9. インセンティブ(租税・税制優遇策：法律第60号/90号)



租税	パラグアイ	アルゼンチン	ウルグアイ	ブラジル
法人所得税(*)	≤10%	35%	25%	34%
個人所得税	10%	35%	25%	27,5%
付加価値税	≤10%	21%	23%	25%

(*) 注：海外にて配分される場合は、27.5%を上回る可能性有

資本財輸入関税 (機械及び機器)

0%

国内外から取得した資本財
(付加価値税)

0%

負債: 資本金, 金利及びコミッションの送金及び支払いに係る税
(US\$ 5 百万以上の投資に対して)

0%

収益: 配当金の支払い及び利益の海外送金に係る税
(US\$ 5百万以上の投資に対して/10年)

0%

出典：財務省のHP資料を基に作成



9. インセンティブ（マキラ制度）



マキラ制度

- 単一課税（1%）のみが課税（収益に対するもの）
 - 上記の税を除いた生産活動に関する全ての国内税及び関税が実質免除
- ※ 詳細な条件設定あり
- マキラ制度を適用した企業が近年急増

2000年	～ 2013年8月 (13年間)	46社
2013年8月	～ 2016年10月 (3年3ヶ月)	78社
合計		124社 (80%ブラジル企業)



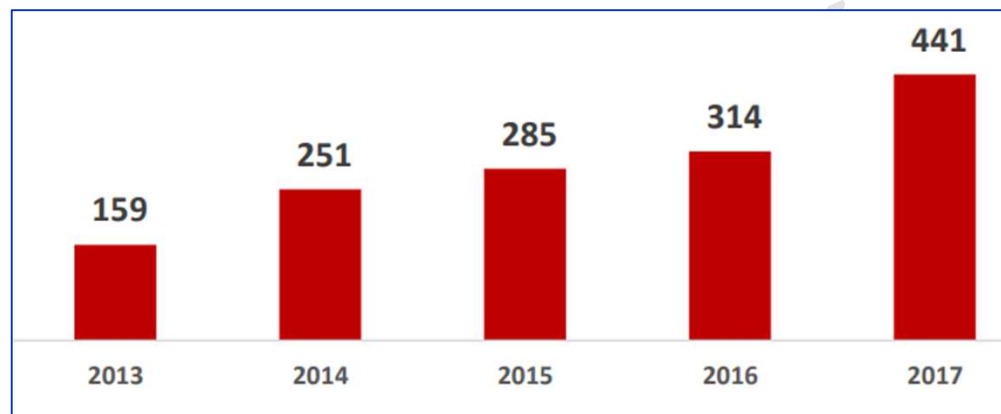
9. インセンティブ(マキラ制度)



マキラ制度

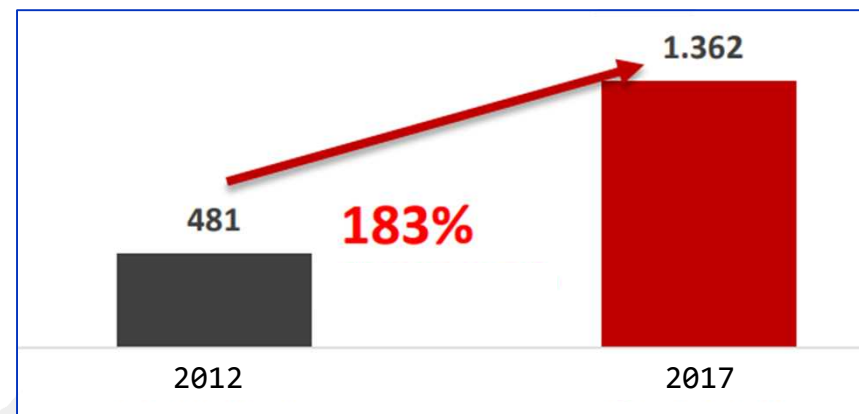
● マキラ制度を利用した輸出量が近年急増

直近5年の輸出額



(百万米ドル)

累積輸出額



(百万米ドル)

出典：商工省輸出貿易促進局